DK-5000 SERIES MANUAL

取扱説明書

DK-5010B

TYPE B

この度は当社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
お持ちの製品が本取扱説明書で記載の製品と一致するか製品ラベルにてご確認ください。
この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れのある場合の注意事項を記載しています。

●お問い合わせは下記まで

ライン精機株式会社

本　社　〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-37-7
TEL：03-3716-5151　FAX：03-3710-4552
E-mail　webtrade@line.co.jp
URL　http://www.line.co.jp

■はじめに

DK-5010Bは、10個の入力キーが押されるたびに、その日時とそれぞれの入力数とそれらの合計値を記憶するタイムスタンプ記録計です。記録開始から終了までの日時と共に記憶された入力数の値の集合体を1組のレコードと呼びます。

※ ご注意ください

本器には専用ソフトウェアが用意されています。本ソフトウェアを使用して、計数中の入力数をPCに表示できます。またPCでレコードを取り込んだり、PCからレコードを削除できます。ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードできます。
本ソフトウェアは、Windows7/8/8.1上で動作します。

DK-5010BとPCとの接続には、マイクロUSBケーブル（Bタイプ）をご使用ください。

■電源

次の3つの方法で電源を供給できます。

- ► AC/DCアダプタ（別売）※
- ► USB電源（5V,100mA）
- ► 単4乾電池×4本

※AC/DCアダプタは、別売のDK-5000専用アダプタをご使用ください。

初めてお使いの際、および全ての電源が断たれ再度電源が供給された際には、表示部のLCDセグメントが2~7秒間点滅した後、日時の設定モードになります。日付と時刻を設定してお使いください。（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

※ ご注意ください

電源の供給が断たれると内蔵されている時計が停止します。AC/DCアダプタやUSB電源でご使用される際にも、時計の停止を防ぐために、併せて電池のご使用をおすすめします。
AC/DCアダプタやUSB電源が接続されている場合、電力は電池から供給されず、電池は消耗しません。

新品のアルカリ電池で、通常のご使用環境において200時間動作します。

電池が消耗すると表示部の右上に ▭ が表示されます。
▭ は、次の場合に点滅表示します。

- ► 電池の残量が少ない時
- ► 電池をご使用されていない時

内部の時計が停止した場合、再度のご使用の際には、自動的に日時の設定モードとなります。
日付と時刻を再度設定してください。時計が停止しても、入力数とレコードは保持されています。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

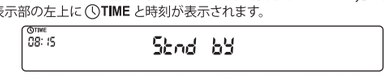
■操作モード

次の4つの操作モードがあります。

①スタンバイモード　②レコードモード　③設定モード　④メモリー呼び出しモード

●スタンバイモード

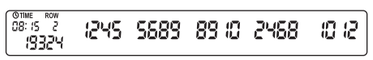
スタンバイモードは、基本の操作モードです。表示部には、「stnd by」が表示されます。
表示部の左上に **TIME** と時刻が表示されます。



スタンバイモードでは、各々の入力キーが機能しません。[F]と[1]、[2]、または[3]のキーが同時に押されると、操作モードはスタンバイモードから他のモードへ切り替わります。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

●レコードモード

レコードモード中は、入力キーが押される毎に、日時と共に表示している入力数を記憶します。
スタンバイモード中に[#]を1秒押すとレコードモードになり記録を開始します。
再び[#]を1秒押すと記録を終了し、スタンバイモードに戻ります。



レコードモードでは、各々の入力キーが機能します。個別入力数と合計値は、対応する入力キーが押される度に計数されます。[F]と[1]、[2]、または[3]のキーが同時に押されると、操作モードはレコードモードから他のモードへ切り替わります。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

●設定モード

設定モードには、次の2つがあります。

a.）日時の設定モード
b.）本体IDの設定モード

これらの設定モードで、日付と時刻の設定または本体IDの設定や確認ができます。
スタンバイモードからの切り替え時は設定変更ができ、レコードモードからの切り替え時は、設定内容の確認ができます。（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

●メモリー呼び出しモード

本器に記憶されているレコードを表示するモードです。表示部の左上にMEMと4桁のメモリー番号が表示されます。このメモリー番号は各々のレコードの記憶場所を表します。
レコードが削除されると、各々のレコードの記憶場所は移動し、メモリー番号は付け変わります。

次の2つの表示モードがあります。

a.）タイムスタンプの表示モード
b.）入力数の表示モード

タイムスタンプの表示モードは、そのレコードの記憶が終了した時の日時を表示します。
入力数の表示モードは、10個の入力数とその合計値を表示します。

記憶されている全レコードの消去もこのモードからできます。
（詳細は、「キー操作」をご参照ください。）

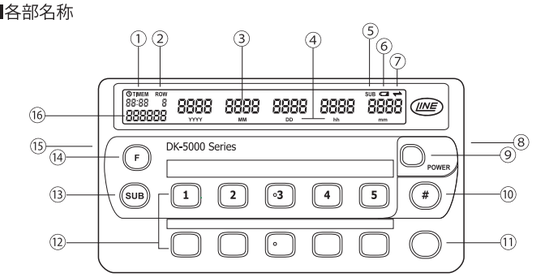
■ソフトウェア

DK-5000専用ソフトウェアを用意しています。ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードができます。
DK-5000専用ソフトでは以下のことができます。

- ・本器からのレコードの取り込みおよびレコードのログデータ表示（入力日時表示）
- ・取り込んだレコードを「.xls」また「.csv」ファイルで出力
- ・本器に記憶されているレコードの削除
- ・日時の同期
- ・本体IDの変更

また、計測中の入力数をPCの画面にリアルタイムに表示できます。表示は1秒ごとに更新します。
詳細については、DK-5000 Mieruzzoソフトウェアユーザーズマニュアルをご参照ください。
本器とソフトウェアが接続されている時は、表示部の右上に ⇄ が表示されます。

■各部名称



① 時計/メモリー番号
② 表示列番号
③ 入力数表示
④ 日時アイコン
⑤ 減数表示
⑥ 電池警告表示
⑦ ソフトウェア通信中
⑧ DCジャック(5.5mm)
⑨ 電源キー
⑩ ＃キー
⑪ 表示列変更キー
⑫ 入力キー
⑬ 減数キー
⑭ ファンクションキー
⑮ USB2.0ポート
⑯ 合計値表示

■キー操作

●電源キー

電源（On/Off）

◆電源キーを1秒間押すと電源が入ります。
電源投入時はスタンバイモードです。画面には「stnd by」と表示されます。

◆電源キーを3秒間押すと電源が切れます。

レコードモード中に電源が切られた際、入力数は記憶され、電源が切れます。
再度電源が投入された時は、スタンバイモードです。

●「F」キー（ファンクションキー）

日時の設定（スタンバイモード）

F ＋ 1

◆[F]キーを押しながら[1]を押すと、日時の設定モードになります。
「年年年年-月月-日日-時時-分分」の形式で日時が表示されます。

◆[1],[2],[3],[4],[5]の キーを押すと、日時の値を増数します。
【[1]:年　[2]:月　[3]:日　[4]:時　[5]:分】
[1],[2],[3],[4],[5] のキーを長押しすると、各キーの値は連続して増数します。

◆[SUB]キーを押しながら、[1],[2],[3],[4],[5] のキーを押すと、各値が減数します。
（「SUB」キーをご参照ください。）

◆[F]キーを押すと日時の設定モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。

注）
※レコードモードから本操作を行った場合、「日付と時刻」の設定が機能しません。

●「F」キー（ファンクションキー）

本体ＩＤの設定（スタンバイモード）

F ＋ 2

◆[F]キーを押しながら[2]を押すと、本体IDの設定モードになります。
3桁の本体IDが表示されます。
本体IDは、ソフトウェアが個々のDK-5000を識別するために使用されます。

[3],[4],[5]のキーを押すことで、本体IDの各桁が増数します。
[3],[4],[5]のキーを押し続けると、各桁を連続して増数します。

◆[F]キーを押すと本体IDの設定モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。

注）
※レコードモードから本操作を行った場合、「本体IDの設定」が機能しません。
※ソフトウェアと接続している時は、本体にて本体IDの変更はできません。

メモリー呼び出し（スタンバイモード/レコードモード）

◆[F]キーを押しながら[3]を押すと、メモリー呼び出しモードになります。
最新に記憶されたレコードの最終値が表示されます。

レコードが無い場合は「no data」と表示されます。

◆[1]キーを押すと次のレコードが表示されます。
◆[2]キーを押すと前のレコードが表示されます。
◆[3]キーを押すと選択したレコードのタイムスタンプが表示されます。
◆[4]キーを押すと選択したレコードの入力数が表示されます。
◆[F]キーを押すとメモリー呼び出しモードが終了し、各モードに戻ります。

メモリー全消去（スタンバイモード）

F ＋ 3

◆スタンバイモード中に[F]キーを押しながら[3]を押して、メモリー呼び出しモードにしてください。
◆[5]キーを押すと「メモリー全消去」モードになります。
◆「メモリー全消去」モードにおいて全消去確認画面が表示されます。

◆[4]キーを1秒押すと、「Yes」が選択されます。
全レコードが消去された後、「メモリー呼び出し」モードに戻り、「no data」と表示されます。メモリー消去中は「All Data ---- ---- Clear」と表示されます。

◆[5]キーを押すと、「No」が選択されます。
レコードが消去されず、「メモリー呼び出し」モードに戻ります。
◆[F]キーを押すとメモリー全消去モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。

注）
※「メモリー全消去」モードは、レコードモード中にはアクセス出来ません。
※メモリー消去中は、データの損傷を防ぐために、電源を断たないでください。

●「＃」キー

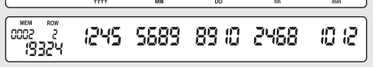
レコードの記録

◆スタンバイモード中に、[＃]キーを1秒押すと、レコードモードになり記録を開始します。レコード開始画面には、「0」が表示されます。
レコード開始とは、[＃]が押されたタイムスタンプから記憶します。

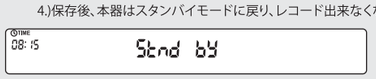
1.)「レコード」とは、入力キーが押される毎に日時と共に個々の入力数を記憶したログデータの集合体となります。

◆レコードモード中に、[＃]キーを再度1秒押すと記録を終了します。
レコードモードからスタンバイモードに戻ります。
「レコード」には、入力開始から終了時までの入力キーが押される毎に日時と共に記憶したデータの集合体を1組として記憶されます。

2.)メモリー番号は、新しいレコードを記憶するたびに増数し、表示部の左上に[MEM]と表示されます。
3.）レコード記憶中は表示が点滅表示します。



4.)保存後、本器はスタンバイモードに戻り、レコード出来なくなります。



注）
※レコードの終了のタイムスタンプは、「メモリー呼び出しモード」とソフトウェアでデータを取得した際の「レコードネーム」に使用されます。

●入力キー

1 to 10

レコードモード

◆[1]-[10] のキーを押すと、各入力数を増数し日時と共に個々の入力数を記憶します。

注）
※入力ミスを防ぐために、しっかりと入力キーを押してください。

●「SUB」キー（減算キー）

SUB ＋ 1 to 10

レコードモード

◆[SUB]キーを押しながら、[1]-[10] のキーを押すと、各入力数が減数します。

設定モード

◆設定モード中に、[SUB]キーを押しながら、[1],[2],[3],[4],[5] のキーを押すと、「年」「月」「日」「時」「分」もしくは「本体ID」の値が減数します。

◆[SUB]キーを押しながら、各キーを押し続けると、連続して減数します。

注）
※[SUB] キーを押している間、画面右上にSUBと表示されます。

●表示列変更キー

レコードモード

◆レコードモード中に［表示列変更キー］を押すと、画面に表示される列が変更されます。
ROW1は、入力1–5を示します。ROW2は、入力6–10を示します。

メモリー呼び出しモード

◆メモリー呼び出しモード内の入力数の表示モード中に、［表示列変更キー］を押すと、画面に表示される列が変更されます。
ROW1は、入力1–5を示します。ROW2は、入力6–10を示します。

■メモリー容量について

1レコードあたりの入力回数が最大で111回であるとき、本器は250組までのレコードを記憶できます。

メモリー容量の80%以上が使用されたとき、メモリー容量低下インジケータ MEM LO 表示が5秒毎に2回点滅します。

メモリー容量の100%が使用されたとき、メモリーフルインジケータ MEM FULL 表示が点滅します。

※ ご注意ください

メモリーに空きが無い場合、新しいレコードの記録が開始されるときに最も古いレコードが消去されます。また記録の途中においてもメモリーに空きが無くなる場合は、最も古いレコードが随時消去されます。レコードが消去されている間は「Record Data to Clear」と表示され、入力キーからの入力ができなくなります。
また、メモリー番号はレコードの消去に伴い変化します。

■仕様

計数範囲	入力値：表示４桁　0～9999、　内部５桁　0～99999 合計値：６桁　0～999999
使用温湿度範囲	0℃～50℃ (但し、氷結しないこと) 35~85% RH (但し、結露しないこと)
保存温度範囲	-10℃～60℃ (但し、氷結しないこと)
寸法	96 (H) x 170 (W) x 25 (D) mm
質量	約 185g (電池含まず)
適合規格	CE、RoHS

詳細につきましては、弊社ホームページをご確認ください。 **http://www.line.co.jp**

⚠ ご使用上の注意

- ・本器を強い電磁波を出す機器の近くや静電気のたまっている物体の近くで使用しないでください。
- ・本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・本器は防水形ではありませんので、水中や水のかかる場所での使用は避けてください。
- ・本器を直射日光、ほこり、高温多湿での使用、保管をしないでください。
- ・電池を適切に入れるため、電池ケースの表示を確認してください。
- ・本器の分解、改造等を絶対に行わないでください。
- ・USB電源をご使用になる際は、USBケーブルが外れないように本器をしっかりと固定してください。
- ・本器の表示部・操作部には保護シールが出荷状態では貼付してあります。

本紙は2015年6月15日現在のものです。4DK5005A
記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

All Rights Reserved,Copyright©2015,LINE SEIKI CO.,LTD.